

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成18年度第1回定例会
開催日時	平成18年4月19日（水曜日） 18時00分から20時00分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長：武田雅子 副会長：野間春二 委員：細井邦夫、濱崎昌子、柳澤英之、下栗庸隆、富澤佳代子、森忠、石橋いづみ、紺野和子、遠山久敬、奥田泰弘 職員：相原館長、伊佐分館長、山本分館長、玉木分館長、香坂分館長、小林分館長、藤森公民館主事、村上公民館主事
欠席者	浅倉隆壽、伊波真貴子
議題	(1) 委員の解嘱及び委嘱について (2) 公民館長人事について及び職員の異動について (3) 第12回定例会の記録について (4) 報告事項 1. 行政報告 2. 平成18年度予算について 3. 利用者懇談会について 4. 事業計画書・報告書について 5. 公民館だより編集室報告 6. 公民館・図書館整備懇談会報告 7. 西東京市文化振興懇談会報告 (5) 協議事項 1. 公民館市民企画事業実施要綱（案） (6) 事務連絡及び情報交換 (7) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 1. 乳幼児を持つお母さんのための講座（保谷） 2. 高齢者講座「西東京の歴史を歩く」第1回（保谷） 3. 母と子のひろば「ぴよぴよっこ」（田無） 4. 歩く・見る・聞く、そして考える環境体験講座（田無・住吉） 5. 「W杯の見どころ、そしてサッカーを通して見えてくる世界」（谷戸） 6. 農業を知る講座（住吉） 7. 財政分析講座（住吉） 8. 子どもいろいろ体験教室（住吉） 9. ステンド・グラスで作る「トライアングルケース」（ひばり） 10. 童話講座（ひばり） (2) 事業報告書 1. 西東京の歴史を歩く（保谷） 2. サークル活動は、順調ですか？（保谷）

	3. ロビーコンサート（保谷） 4. 専門カウンセラーによる「青少年期教育談義」（田無） 5. 高齢者講座「田無カレッジ」（田無） 6. 死生観を考える（芝久保） 7. 農業を知る講座（住吉） 8. 日本中世文学から「現代」を見る（谷戸） 9. 子どもいろいろ体験教室「じゃがいも堀りとじゃがいも料理」（住吉） 10. 子どもいろいろ体験教室「君も今日から名カメラマン」（住吉） 11. 子どもいろいろ体験教室「山のふるさと村自然体験」（住吉） 12. 子どもいろいろ体験教室「クリスマスケーキづくり」（住吉） 13. 子どもいろいろ体験教室「ペットボトルロケットを飛ばそう」（住吉） 14. 子どもいろいろ体験教室「子ども実験教室」（住吉） 15. 子どもいろいろ体験教室「子ども木工教室」（住吉） 16. 子どもいろいろ体験教室「紙ヒコーキを飛ばそう」（住吉） 17. 環境講座「地球温暖化について」（住吉） 18. 子ども陶芸講座「障害のある子もない子もいっしょに作ろう」（住吉） 19. お墓がないと死ねませんか（住吉） 20. 琵琶を聴くつどい「幽玄の世界にどうぞ」（住吉） (3) 平成18年度予算内示総括表（歳出） (4) 3月実施利用者懇談会の報告 (5) 18年度公民館講師派遣事業申請受付一覧 (6) 初めての公民館講師派遣事業（リーフレット）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
(1) 委員の解嘱及び委嘱について ○館長： 一身上の都合により、4月3日付で木村委員から辞任願いが提出され、これを受理した。後任には、田無第二中の朝倉校長を委嘱した。	
(2) 公民館長人事について及び職員の異動について ○館長： 前館長の退職に伴い、私が館長として補された。そのほか、4月1日付の職員異動に伴い、配布の職員名簿のとおり配置をしたので、よろしくお願いしたい。	
(3) 第12回定例会会議録について 会議録について確認	
(4) 報告事項 1. 行政報告	

○館長：

定例市議会は、3月30日に終了した。3月の公運審以降に開催の予算特別委員会においても、公民館に直接関係のある質問はなかった。

2. 平成18年度予算について

○館長：

※資料説明

○委員：

ひばりが丘の音響機器は予算に入っているのか。

○職員：

備品購入費がついている。

○委員：

田無の空調設備が不調と聞いているが、予算は大丈夫か。

○職員：

田無公の施設管理の予算は、中央図書館が管理しているので、この表の予算には含まれていない。

○委員：

田無の調理室の下水道の詰まりは直るのか。

○職員：

年間2回ほど、排水管清掃の予算をとっている。

○委員：

事業内容の見直しの部分は、主催事業の回数を減らすのか。

○職員：

そういう対応も含まれている。

○委員：

成人期と青年期の違いはどこで線引きしているのか。

○職員：

概ね、青年期は学生、成人期はそれ以上の年齢層を対象と考えている。

○委員：

視聴覚教育は、26.4パーセント減だが、どのように見直したのか。

○職員：

例えば、借用する映画の単価や演奏家の謝礼額を抑制したりしている。

○委員：

職員定数が減であるにもかかわらず、公民館運営管理費の増はなぜか。

○館長：

正規職員の人件費はこの表とは別に計上しているが、代替の嘱託員の採用のための予算は運営管理費に報酬として予算計上しているためだ。

4. 利用者懇談会について

○職員：

※各館の現状を資料に基づき説明

○委員：

住吉公の報告で、駅前公民館に関するアンケートを取ったことを初めて聞いた。利用者の生の声であり、施設整備懇談会等でも活用してほしい。

○委員：

「きらっと」の駐車場の配置図を各館に配ったのはよかった。芝久保では講師派遣のリーフレットを配っていたのが、こうしたものは全館で配布してほしい。

○委員：

空き部屋があるときには、当日でも貸してほしいという利用者からの要望があったが、同じ利用団体として、どうして準備なく当日に使えるのか疑問に感じた。当日に使用できるのは、かなり特殊な例だと思う。または人数が少ないグループに限られるのではないか。

○職員：

施設の近くに住んでいる人は毎日でも空き状況を確認して、仲間に連絡を取って活動をしたということだと思う。しかし、団体で活動するということを考えると、当日に突然は集まれないと思う。何かのミスで予約が取れていないのに集まってしまったというときには例外的に許可することはあるが、通常はお断りしている。

○委員：

少数意見であっても切り捨てないでほしい。

○会長：

館をのぞいたら空いているから使わせてほしいというのと、たまたま何かのミスでというのとでは次元が違うと思う。グループも努力が必要なのではないか。

○委員：

前日の午前0時まで自宅のパソコンから申し込める訳だし、サークルとしても、工夫されたらどうなのか。

○委員：

4月1日から市のホームページがリニューアルされた。公民館も積極的に書き込みをお願いしたい。

5. 事業計画・報告書について

○委員：

事業計画書の中で、いくつかの館で子育てをしているお母さんのための講座があるが、担当者のミーティングはあるのか。

○職員：

残念ながら講座担当者の連絡会はない。全体の職員会議での意見交換はある。この事業は保育になるため、保育担当者の会議では情報交換をしている。

○委員：

田無の事業報告書にある「専門カウンセラーによる青少年期教育談義」の参加人数が4人と少ないが、今後に向けての改善策が述べられていない。

○職員：

館でまだ十分な検討がなされていないので、今後の課題としたい。

○委員：

芝久保の死生観を考えるの報告書で、参加者から不満の声があったとあるが、どのようなことか。

○職員：

小グループの話し合いより、死生観の歴史などの体系的な講義を聞きたいという人がひとりいた。そのため、講座の進め方を全員で協議したが、ほとんどの人は、知識を得るより、他の人の意見を聞いて自分の考えを確かめたいということだった。

○委員：

「西東京の歴史を歩く」は前年度と同じ講師なのに、なぜ講師謝礼の額に変更を生じたのか。

○館長：

担当が欠席のため、次回に説明させてほしい。

○委員：

住吉の子どもいろいろ体験教室の報告はまとめて出ているが。

○職員：

今年度からは、1つのシリーズとして考えていきたい。

○委員：

子どもいろいろ体験教室は参加人数に幅がある。学校行事を考慮した方が良いのではないか。

○職員：

今後は学校行事を考えて日程を組みたい。

○委員：

田無のぴよぴよこっちは保育なしで大丈夫か。

○職員：

初の試みであり、手探り状態ではあるが、講師2人と職員で3人で進めたい。

○委員：

住吉の「子ども陶芸講座」の報告に「障がいのある子ども」とあったので参加しやすかったとあるが、障がいのある子の参加割合はどの程度か。

○職員：

1階にひいらぎがある関係で、1回目は90パーセントくらい、2回目は10パーセント程度であった。

○委員：

住吉の講座に同じ講師が多いがなぜか。

○職員：

子どもいろいろ体験教室や環境問題に欠かせない講師である。

○会長：

前にも同じ話が出たが、できる限り市内の人材を活用してほしい。

○委員：

保谷の乳幼児を持つお母さんのための講座の事業目的に「主権者として」という言葉があるが、女性が主権者であることは自明のことでもあり、不要ではないか。

○職員：

女性問題講座でもあり、ひとりの人間としての生き方を考えるため、あえてこの言葉を入れたが、企画書レベルの表現である。

6. 公民館だより編集室報告

○委員：

4月4日に編集室が開かれた。見開きの標語については、現在の三多摩テーゼの連載が終わったら、検討したい。

前回の課題になっていた公民館を伝えるコラムについては、6月から3月までの10回で奥田委員の寄稿をお願いし、了承を得られた。1面の下段を使い、毎月のテーマは奥田

委員におまかせする。他に公運審報告を、随時掲載してはどうかの意見が編集室で出ている。限られたスペースではあるが、話し合っしてほしい。

現在開催中のミニコミ編集入門は好評である。

○委員：

審議会全体の報告は無理なので、感想を書いたり、その時考えたことをまとめて、コラムにするのはどうか。そういうものならおもしろいのでは。

○委員：

何か、議題で感じたことをひとつだけ書くのも良いと思う。

○会長：

編集室担当の委員から書いてもらえるといいのではないかな。

○委員：

編集室に方針をまとめてもらい、内容は任せたい。

6. 公民館・図書館整備懇談会報告

○委員：

3月30日の第7回の会議をもって審議を終え、任期を満了した。4月末に「西東京市公民館・図書館の施設整備について（提言）」を教育長に提出予定だ。内容は「第1章 公民館・図書館の施設整備の考え方」「第2章 （仮称）保谷駅前公民館・図書館の施設づくりについて」「第3章 その他の既存施設について」「第4章 まとめ」の4章立てだ。今後、庁内の策定委員会に引き継ぎ、提言をベースに基本計画案が策定される。8月か9月に利用者説明会、パブリックコメント、18年度後期に実施設計の予定だ。

駅前公民館は、現在の住吉利用者の利益と、駅前という従来の施設と異なる立地条件への配慮、また与えられた条件の中でスペースをどう有効に使うのか。他の5つの既存施設の整備も含めて、地域住民の生の声を受けとめて生かしていただきたい。

駅前公民館への交通アクセスの確保のためにも、はなバスなどの配慮も必要である。今回の会議には、資料を配布できると思う。

7. 西東京市文化振興懇談会報告

○委員：

5回目の会議が終わったが、さまざまな意見が出ており一本化に手間取っている。4つのグループで協議しているがまとまらない。その段階で報告したい。

（5）協議事項

1. 公民館市民企画事業実施要綱（案）

○職員：

要綱の最終案は6月の定例会で示したい。現在、第1期分の申請を受理したところであるが、8団体中2団体において内部講師であることがわかり、要綱の規定に従い審査結果は不許可となった。該当グループには連絡済みである。

6月23日の19時から第2期申請分の企画懇談会、7月8日の14時から新しい要綱を示し懇

談会を行う。予定では、第4期からは新要綱で実施したい。

○委員：

企画懇談会によって、市民の負担が1日ふえる訳なので、いかにこの会を成功させるかを考えてほしい。負担感を訴える市民は多かった。実施団体には確実に声かけしてほしい。

○職員：

市民のネットワークづくりに役立ち、企画のノウハウを学べる、実りのある会にしたい。

○委員：

決まったら公民館だよりで大きく広報してほしい。

○委員：

新要綱の検討はどうなるのか。

○職員：

6月の定例会で、協議する予定だ。

(6) 事務連絡及び情報交換

○会長：

この間、1年にわたって会長の任を努めてきた。正・副委員長の任期について決まりはないが、5月に改選をお願いしたい。編集室の担当も次回協議してはどうかと思う。

(7) 次回の日程について

5月17日（水曜日） 18時30分

於：保谷公民館 第1会議室